I. 学校経営の方針

1. 教育目標

よく学び、よく遊び、よく働く子ども

- 考える子(創造・自律・個性伸張)
- 強い子(健康・気力・克己心)
- 明るい子(協力・感謝・思いやり)
- 働く子(実践・協働・責任)

ひいらぎの生活

ひ……ひとりの力でまず挑戦
い……いつも思いやりの心で
ら……らくらく気分で働こう
ぎ……ぎらぎら太陽っ子に

2. 本年度の指導重点

- ① 郷土を愛し伝統と文化を尊重する態度を養う。
(地域学習素材の教材化 地域学習と行事)
- ② 基礎的・基本的学習内容の確実な定着と思考力・判断力・表現力(活用する力)を育む。
- ③ 学習への意欲を高める。
(問題解決的な学習 わかる授業の創造 家庭学習の定着)
- ④ コミュニケーション能力の育成。(聴く力 言語能力 伝える力の育成)
- ⑤ 将来の生き方の基礎を培う生徒指導に努める。
- ⑥ 健やかな体と豊かな心の育成。
- ⑦ 安心・安全を基礎とし、家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進に努める。
- ⑧ よく働く子どもの育成に努める。

3. 特色ある取り組み

- ① 学年ごとに郷土学習に取り組み、全校で一覧表を作り、教育課程に位置づける。
- ② 校内研究で、基礎的・基本的学習内容の確実な定着と思考力・判断力・表現力(活用する力)を育む実践を行う。
- ③ 授業に問題解決的な学習を多く入れ、学習への意欲を高める。また、「家庭学習の手引き」を配布し学力向上に努める。さらに、家庭学習 Q&A を定期的に家庭に配布し、家庭との連携をとる。他、ステップアップタイムの活用、漢字検定への挑戦を行う。
- ④ 校内研究で、「伝え合う力」を伸ばすなどのコミュニケーション力の充実を図る。特に、年間20回を超える集会活動を行い、集会後の感想発表、討論型の話し合いを仕組んだり、研究を深め、一覧表を作成する。
- ⑤ 道徳教育の充実と児童会活動、個別懇談の充実を図る。また、全校草取りやうわばきを自分で洗う取り組みを行い、学校教育目標である「よく働く子ども」を育成する。
- ⑥ 長縄跳びや水泳、チャレンジランニングなど、チャレンジ体験。児童会によるなかよし給食、外遊びや異年齢遊び、多様な人との交流等を通しての、豊かな心の育成を行う。
- ⑦ 登下校指導の「見守り隊」をはじめ、民生委員などとも連携し、安心・安全な学校づくりを行う。また、運動会やひいらぎ祭に加え、地域の職業人や音楽家を招いての講演会や音楽会を開催し、地域との交流を増やす中で、信頼される学校づくりの推進に努める。

4. めざす学校像・教師像

- 一人ひとりが大切にされるとともに，目的達成のために組織的に行動する学校
- 専門職者としての自覚と使命感を持ち，常に自己研修に努める教師